

1月7日(水) 「令和7年度3学期始業式」

学校長から以下の内容で話がありました。(抜粋)

皆さん、おはようございます！そして、あけましておめでとうございます。今日から3学期が始まります。1年のまとめであり、次の学年へのステップとなる大切な時期です。

さて、2026年、今年の干支(えと)は何でしょう？そう、「午(うま)」、馬年です。

今日は皆さんに、一つクイズを出します。私たちが毎日使っている言葉の中に、この「午(うま)」という漢字が隠れているのを知っていますか？

ヒントは、時間です。お昼の12時より前を「午前」。12時より後を「午後」。そして、12時ぴったりのことを、難しい言葉で何と言うでしょう？

正解は、「正午」と言います。全部に「午(うま)」という字が入っていますね。

実は、昔の人はお昼の12時のことを「馬の刻」と呼んでいました。太陽が一番高く上がって、世界が一番明るく、エネルギーがいっぱいになる時間のことです。

つまり、午年(うまどし)というのは、「一年中、太陽のエネルギーがあふれる、とっても明るい年」なんです。

そこで、3学期が始まる今日、校長先生から皆さんにがんばってほしいことが二つあります。

一つ目は、馬のように、元気いっぱい走ること！「やってみたい！」と思ったことに、太陽のような明るいパワーでどんどん挑戦してください。

二つ目は、馬のように、しっかり休むこと！馬は、休む時もしっかり休みます。やる時はやる、休む時は休む。この「メリハリ」を大切にしましょう。

そうすれば、何事も「ウマ(馬)」くいくはずです！

もう一つお話しをします。

去年の秋にノーベル賞を受賞された二人の日本人の先生、坂口志文先生と北川進先生のお話から、皆さんが夢を叶えるための「大切な鍵」についてお話しします。

お二人の先生に共通しているのは、自分の「好き」「楽しい」「おもしろい」という気持ちを、一生大切にされたことです。

坂口先生は、私たちの体の中で、自分自身を攻撃しないようにブレーキをかける「免疫(めんえき)」の仕組みを発見しました。実は坂口先生がこの研究を始めた頃、周りの学者たちは「そんなブレーキの細胞なんてあるはずがない」と誰も信じてくれませんでした。書いた論文を突き返されることもあり、とても苦しい時期が長く続きました。坂口先生は「これは絶対におもしろい発見だ」と自分を信じ、周りが反対しても研究を続けました。周りが何と言おうと、「これは絶対におもしろい、正しいはずだ」と自分を信じて、10年も20年も続けたのです。

北川先生は、目に見えないほど小さな「穴」がたくさん開いた、魔法のような新しい材料を作りました。北川先生がこの研究のヒントを掴んだのは、30年以上前のこ

とです。実験でできた材料を顕微鏡で覗いたとき、そこには無限に続く小さな穴が見えました。その瞬間、先生は「これはおもしろい！」とピンときて、体が震えるほど興奮したそうです。

それまでは「穴だらけの材料なんて、すぐ壊れるから役に立たない」というのが科学の世界の常識でした。でも、北川先生はその「常識」を疑い、自分の「おもしろい！」という直感を信じて研究を突き詰めました。その結果、今では地球を救うような素晴らしい発明になったのです。実験で不思議な「穴」を見つけたとき、「これは楽しい！」と震えるほど感動したそうです。

皆さんの中にも「これが好き！」「やっていて楽しい！」という気持ちがあるはずです。それは、夢を実現させるための、世界でたった一つの大切なエネルギーになります。しかし、ただ「好き」なだけで夢が叶うわけではありません。北川先生は、こんな素敵な言葉を紹介されています。

「幸運は、準備された心にのみ宿る」

これは、昔におられた偉大な科学者パストールの言葉です。

「ラッキー（幸運）」や「チャンス」は、誰にでも平等に降ってきます。でも、それを見つかり取るのは、日頃から「いつチャンスが来てもいいぞ」と、心を準備していた人だけだという意味です。

では、どうすれば「準備された心」が作れるのでしょうか？

それは、日々の授業、友達との遊び、係の仕事など、目の前のことToOneひとつ大切にすることです。「日々の学び」や「人との出会い」を大切にし、感謝の気持ちを持ってコツコツと続けること。それが「心の準備」になります。

決めたことをコツコツと続けていくのは、簡単なことではありません。途中で失敗したり、嫌になったりすることもあるでしょう。

でも、そんな「困難」を乗り越えて最後まで諦めない力こそが、皆さんの未来を切り拓きます。お二人の先生も、何十年も諦めずに続けたからこそ、世界一の賞にたどり着きました。

先ほど、校長先生は、馬のように、元気いっぱい走ること！「やってみたい！」と思ったことに、太陽のような明るいパワーでどんどん挑戦してくださいと言いました。そのとき、「これだけは最後までやり抜くぞ」という決意を持ってほしいです。壁にぶつかった時は、自分の「好き」という気持ちを思い出し、「準備された心」を信じて、もう一歩だけ前に進んでみてください。「好き」という情熱をもち、周りの人への「感謝」を忘れず、日々の努力で「心を準備」する。これが、皆さんの大きな夢を実現させる「魔法の鍵」です。

この3学期、皆さんができる可能性を信じて、最後まで力強く歩んでいくことを期待しています。一緒に頑張りましょう。

